

拝啓 今年も早や9月末となりました。いつもエンカウンターをお読み頂きありがとうございます。近所の公園では、きんもくせいが咲き始めました。今年は、例年より10日も早く咲き始めた感じです。

今回も、「小西芳之助先生金曜会語録」からの引用の第11回目です。今回の部分は、昭和39年から44年頃金曜会に出席された時の話です。今回の語録の中にも、「目の前に落ちてくる仕事をする」「永遠の命をめぐらして毎日の義務をやること」「名人の碁に妙手なし」「一つの聖句に人生をかける」「復活はキリスト教のポイントである」など、感銘深い言葉が詰まっています。私が高円寺東教会に行き始めた頃、小西先生は70歳を越されて、晩年の燃えるような伝道の時期に入られたことを感じます。

津山土岐家財団のしきり直しの仕事に取り組んでいますが、おかげさまで9月23日の理事会・評議員会で、私が理事長に就任いたしました。10月1日には、津山土岐家財団記念館の開所式を、おそらく相当盛大に迎えることができます。ご加禱を感謝いたします。8月と9月で、大体2泊3日で4回も津山に行きました。津山に財団の協力会を立ち上げることが出来ました。津山の大きな病院の理事長である中島壮太先生が協力会長に就任して下さい、運営委員には、いろいろな分野の素晴らしい人たちが参加して下さいということになりました。素晴らしい人がつぎの素晴らしい人を紹介して下さいという連鎖で、準備万端進みました。私も、常住坐臥時節の久近を問わず「わが主イエスよ、わが主イエスよ、万事が益となる」と絶えず口に称えながら、目の前の義務の遂行にあたりましたが、称名の効果は絶大でありました。

9月21日には、今井館で「南原繁と内村鑑三―時代を追って―」という題で、講演をすることが出来ました。パワーポイントを使って、わかりやすい講演であったと感想を述べて下さった人がおられ、感謝でした。

小西先生の説教集『エペソ書講解説教』を横浜大気堂に印刷してもらって出版することが出来ました。このエンカウンターに同封します。訂正の正誤表を入れるつもりですが、「前書き」の終わりから8行目、石館基さんの召された日を間違えてしまいました。「2015年3月天の国に旅立たれました」とありますが、正しくは「2014年12月」でした。これまで数人の方には、事前に本をお送りしましたが、恐れ入りますが、それらの本もご訂正ください。

いつの間にかすっかり涼しい秋に変わりました。皆様もどうかお身体ご自愛のうえ、お過ごしください。

敬具

平成27年9月25日

山口周三

エンカウンターの読者各位